

県域 絶滅危惧Ⅱ類



環境省レッドリスト(2018) 絶滅危惧Ⅱ類(VU)

頭部と胸鰭が大きく特徴的。福井県ではアラレガコの名(俗名)で親しまれている。北潟湖産 全長:23cm

カジカ科 カジカ属

【最大全長】25cm

アユカケ(カマキリ)

地方名:アラレガコ

学名: *Cottus kazika*

分布域

青森県・茨城県以南の本州と
四国南部・九州東部に分布する。

生息域

河川では水の綺麗な流れの速い
砂礫底～礫底部を好む。



全長1.5cm前後の幼魚。河川の河口部で採集。

日本の固有種。頭部と胸鰭は極めて大きい。日本産の淡水性ハゼの仲間では最大級。海で生まれ河川に遡上し成長する降河回遊魚。河川では水の綺麗な流れのある砂礫底～礫底部を好む。成熟した個体は初冬に河川を下り、河口域や海岸線の岩礁帯で産卵する。産卵や受精には30%以上の海水が必要とされる。孵化した稚魚は、3～5月に全長1.5cm前後にまで成長し河川に遡上する。食性は動物食性。幼魚期は底生動物や水生昆虫を食べるが、体長10cm前後からは魚食性を示す。水槽での飼育は比較的難しい。水温を下げるか、塩分を投入するなどしないと皮膚病になり易い。餌は活きた小魚やエビなど食べる。

在来種

回遊魚

※ 1935年6月に、九頭竜川の大野市～福井市までの間が「アラレガコの生息地」として、国の天然記念物に地域指定されている。全国的に生息数が激減している。